

議会報告と意見交換会報告書

平成29年8月6日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

C班

代表 中島 好人

平成29年6月定例会議会報告と意見交換会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成29年8月3日（木）10:00～11:40

2 開催場所

本山公民館

3 参加人数（市民）

4人

4 担当班議員名

（ 中島 好人 ）（ 岩本 信子 ）（ 中村 博行 ）
（ 三浦 英統 ）（ 岡山 明 ）（ 石田 清廉 ）

5 報告会次第

（1） 市議会代表挨拶

（2） 6月議会の報告

① 民生福祉常任委員会 （ 三浦 英統 ）〔司会〕（ 岡山 明 ）

② 一般会計予算決算常任委員会 （ 中村 博行 ）〔記録〕（ 石田 清廉 ）

（3） 地域公共交通について意見交換 （ 岩本 信子 ）（ 中村 博行 ）

6 主な質問・意見・提言

<民生福祉常任委員会>

- ① 空家実態調査依頼について4年前に自治会長を通じてあったが、十分な調査に至っていない。今後はどのような実態調査がされるのか。

[回 答]

これまでの調査で、地域からの情報は149件、問題解決したのは79件、70件は未解決のまま。消防署が調査を実施したこともあった。詳細については、今後設置される協議会で検討されることになる。

- ② 空家等の所有者にどのような対応がされたのか。未解決の空き家を行政が強制執行した場合、その後の費用などの処理はどのような状況か。

[回 答]

空き家の所有者に対して指導、助言、勧告などの通告をしたが、今日まで強制執行の例はない。今後も空家等対策計画について行政としての調査、連絡、指導、助言や支援など協議会において検討していく。

<一般会計予算決算常任委員会>

- ① 市民館の耐震診断の結果がI s値0.09とのことだが、数値が示す意味がわからない。わかりやすい具体的な状況を市民に示すべきだ。

[回 答]

学校建設の際は、I s値0.3以下は建て替えとの説明だったが、今回は具体的な説明はなく、市民の安全確保のため早期に耐震補強工事を行いたいとのこと。また、建て替えには約30億円から40億円が必要である。

<産業建設常任委員会>

- ① 前回の議会報告会において、小規模土木の負担割合が2割から3割に変更され、着工までの待ち期間が短縮されるとの説明がされた。地元負担割合の見直しではなく、予算枠を増額できないのか。地元の負担軽減が出来ないのか。

[回 答]

小規模土木について現状では申請後2～3年待ちとなる。それらの改善も考慮しての負担割合の見直しがされた。今後も市民の要望に沿うよう努力していく。

- ② バス会社へ1億3千万円もの補助金が出されているが、本当に有効な補助金か。

[回 答]

補助金については現行の公共交通を維持していく上にも必要なものだ。今後もより多くの市民の意見を聞き、行政にしっかりと提言し、公共交通の改善に努めていく。

<意見・提言>

- ① 地域公共交通について、現状の料金は高い。高齢者が運転免許証を返納した場合、買い物や、病院などへの交通手段が大変不便となる。無理をして運転を継続すれば交通事故へつながる。できるだけ家族で協力し合っているが、今後、公共交通の見直し、改善に努めるべきだ。
- ② 公共交通問題の意見交換会を開くのなら、その対象となる地域や、高齢者に対して直接意見が聞ける会場や時間を検討すべきだ。
- ③ 町内の道路工事などで材料支給を利用する際、その基準を見直して支給の量を増やしてほしい。例えば東京理科大の土地購入費4億円など、少し努力すれば有効な予算確保ができると思われる。
- ④ 市広報裏表紙のカレンダーの下部、翌月初めのイベントも枠に記載すべきではないか。